


# 記入例

- ・当該「記入例」は、宮崎県知事登録者を対象としたものです。
- ・黒色のボールペン等（耐水性のもの）で記入してください（鉛筆書きや文字が消えるものは不可）。
- ・登録内容についても確認しますので、氏名、住所、本籍及び従事先が現状と異なる場合は、【様式第七号】宅地建物取引士資格登録簿変更登録申請書も併せて提出してください。
- ※ この場合、変更登録した後に受講許可証を発行しますので、日数を要します。法定講習申込み期限など確認し、書類は余裕を持って提出してください。

## 他県受講許可願

平成30年 5月15日

宮崎県知事 殿

住 所 福岡県福岡市東区□□○-○○-○  
(電話番号 092-xxxx-xxxx )  
氏 名 福岡 日向 

私は、宅地建物取引業法第22条の2第2項の規定による法定講習を他県で受講したいので、下記のとおり受講の許可を申請します。

### 記

1 登録番号 宮崎県第 **9227** 号

2 取引士証有効期限 **平成30年 9月 8日**

3 講習実施団体 **公益社団法人福岡県宅地建物取引業協会**  
**公益社団法人全日本不動産協会福岡県本部**

当該書類を提出する前に、事前に宮崎県知事登録者が受講できるか確認することが必要。

こちらは「記入例」のため2団体記入しているが、実際は1団体のみ記入。

正確な団体名を記入すること。  
全日本不動産協会の場合は「○○県本部」まで記入。

4 受講日 **平成30年 7月25日**

交付の申請前6月以内に行われるもの  
※←この受講日は実際と異なるので注意

5 受講理由 **福岡県に在住しており、宮崎県で法定講習を受講する時間が**

宮崎県内で実施する法定講習を受講できない理由を記入  
→・宮崎県外在住  
・宮崎県内在住だが、一刻も早く宅地建物取引士証が必要なため  
など

**取れないため。**

当該許可願は、記載の法定講習受講が確定した段階で提出するものですので、「講習実施団体」及び「受講日」欄が空白のもの（未定のもの）を提出されても、受講許可証は発行できません。